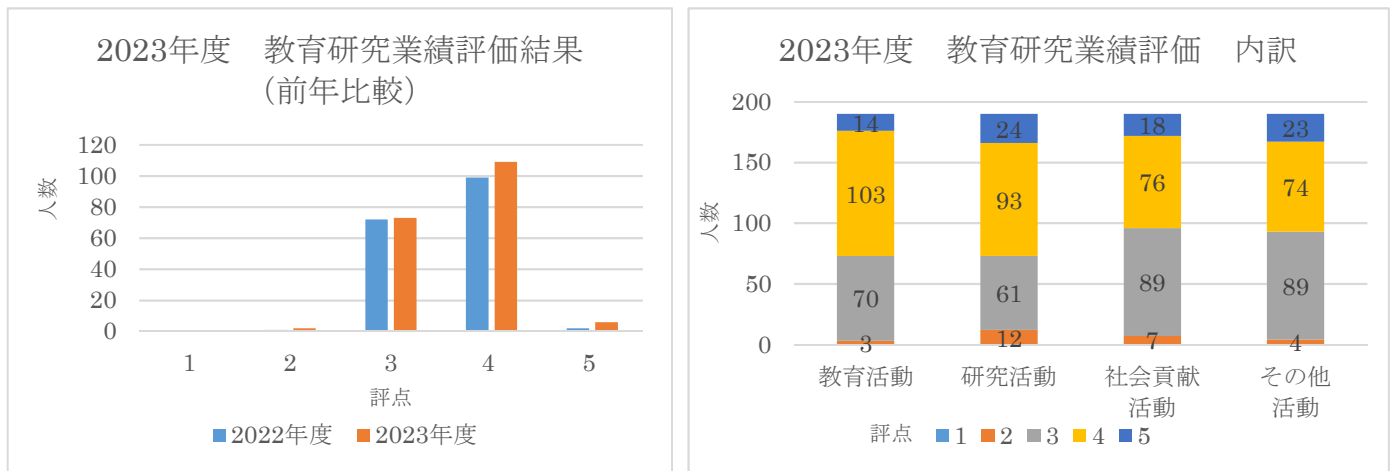


## 2023 年度教育研究業績評価（活動対象 2023 年度）の結果について

副学長 松井 健

2023 年度の教育研究業績評価は、2022 年度に引き続き、教育活動・研究活動・社会貢献活動・その他活動の 4 つの領域において、各教員により重点比率及び目標を設定したうえで、その目標に対する達成度に応じて所属長による 5 段階で評価を行った。

2023 年度教育研究業績評価（活動対象 2023 年度）についての結果を以下のとおり報告する。



左の表は教育研究業績評価結果における 2023 年度と 2022 年度を比較した棒グラフである。昨年度に引き続き、4「優れている」・3「良好」の割合が高い。

右の表は教育研究業績評価における領域ごとの内訳である。

全体としては、4「優れている」・3「良好」の割合が高い結果となった。

活動領域毎の結果としては、

- ・ I.教育活動領域は、4「優れている」・3「良好」の合計が全体の約9割となった。
- ・ II.研究活動領域・III.社会貢献活動領域・IV.その他活動領域は、4「優れている」・3「良好」の合計が全体の約8割となった。

2023 年度は、新型コロナウイルス感染症の感染状況は落ち着いたものの、「オンライン授業」や「対面授業」と「オンライン授業」を併用したハイブリッド型の授業展開を引き続き行うことで、それぞれのメリットを生かしながら教育の質向上に努めることができた。引き続き、さらなる研鑽により教育研究水準の向上に向けた取り組みを継続し、新たな教育展開の実現を目指す。

以 上